

「窓から穴道湖を臨み」「広がる青空」
緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

玉造厚生年金病院広報誌

たまつくり

ノウ

No.28

2012年 夏号



理 念

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。

Contents

「クリーンルーム」について	2,3
インターンシップ 京大研修医	3
病棟紹介	4
関節と骨の健康フェスタについて	5
地域連携室・医療相談室について	6
夏バテ防止料理	7
新人紹介	7

人工関節OP件数 7673件 (7月31日現在)

人工関節手術と クリーンルーム（無菌手術室）



整形外科医長 石坂 直也

1. 人工関節手術と感染症

膝や股関節などに対する人工関節置換術は、耐え難い関節の痛みや変形を矯正し、術後の生活の質を飛躍的に改善させる有効な手段として、当院でも数多く行われております。安全かつ正確に体内に設置された人工関節（インプラント）は、特に問題が無ければ通常20年程度、長ければ一生患者さんのからだの一部として働き続けることとなります。しかし稀には何らかの合併症が生じる場合があります、中でも最も問題となってくる合併症の一つとして術後の細菌感染があります。不幸にも人工関節に細菌感染が生じてしまうと、細菌は自らの周囲にバイオフィームと呼ばれるバリアーを形成してしまうため、抗生物質を投与してもインプラント周囲の細菌には行き届かなくなってしまいます。結果として体内に設置された人工関節は抜かざるを得なくなり、感染を収束させ新しい人工関節に入れ換えることができるようになるまでに数か月から数年間かかってしまうことがあります。これは患者さんにとっても、また患者さんを支える御家族にとっても大変な負担となってしまふことになるため、術後の感染症を予防するために、あらゆる対策をとる必要があります。



①人工関節手術は全てクリーンルームで行われる

②電動ファン付きヘルメット

天井③から側壁の下のフィルター④を通して、清潔な空気が流れる

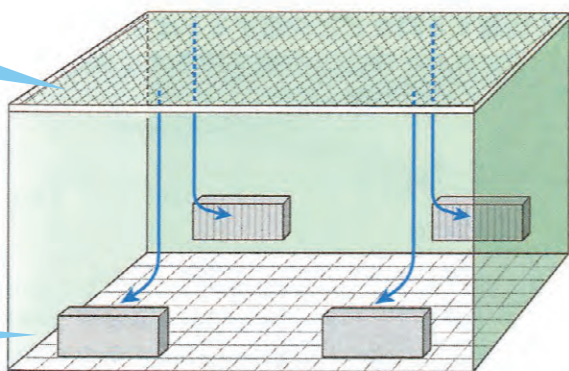
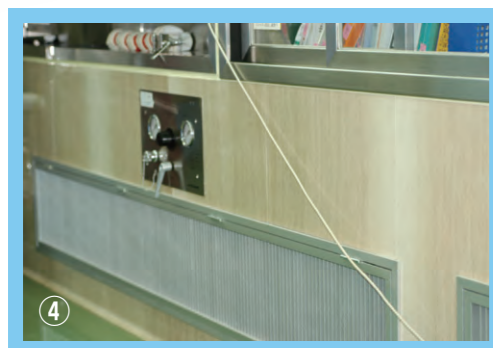
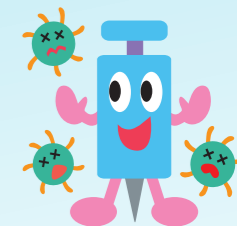


図1 空気の流れ

天井に取りつけた特殊なフィルターで除菌し、ゴミなどをとり除いた空気がクリーンルームへ送り込まれ、クリーンルームの空気は床近くに設置された別の排気口から送り出される。

2. 術後感染の原因

では術後に生じる感染はどのような経路で起こるのでしょうか。感染経路としては大きく分けて3つの経路があり、(1)手術時における空中落下細菌等によって生じる場合 (2)からだの他の部位の感染源（尿路感染、肺炎、炎症を起こした巻き爪、けがの感染など）からの2次的波及 (3)抜歯や内視鏡手術（ポリープ切除など）等の医療行為が誘因となる場合などが可能性として考えられています。(1)については医療者側の努力によって、(2)と(3)については患者さんへの生活指導などによって予防対策がとられています。



3. 当院における感染症対策

当院における(1)の術中感染の予防対策として、クリーンルーム（無菌手術室）やボディエグゾーストスーツの使用があります。当院の手術室は全部で5部屋ありますが、そのうち3部屋がクリーンルームと呼ばれる高度な清潔環境を提供する特殊な設備を持った手術室であり、当院で行われている人工関節手術はすべてこのクリーンルーム内で行われています。このクリーンルームは現在の人工関節手術の礎となった英国のJ. Charnleyによって1970年に導入され、現在では人工関節手術を行う多くの病院で導入されています。クリーンルームの清潔管理エリア内は垂直層流と呼ばれる天井から床へのフィルターを通した清潔な空気の流れが行われており、空中に漂う細菌数を極力減らすような構造となっています（図1）。一方で手術野に立つ医師や看護師の手術用ガウンもボディエグゾーストスーツと呼ばれる頭の上から足まですっぽり覆われるような、まるで宇宙服のような特殊なものを使用して手術が行われています。このスーツの中では、スタッフは電動ファンのついたヘルメットをかぶっており、ガウンの中では呼吸や会話をしても排気が足元に流れ出ていくような構造になっています（写真①、②）。これら清潔環境を維持するシステムと手術場スタッフの不断の努力によって、最近5年間の当院における人工関節手術に起因した早期の感染症発生率（SSI率）は0.3%と全国的にみても低率を達成しています。

インターンシップ

玉造厚生年金病院での実習を終えて 京都大学医学部5回生 並川 実桜

5月28日～6月15日まで、当院整形外科にて臨床実習をさせて頂きました。恥ずかしながら、ここに来る前は整形外科についてほとんど知識がなく、そのためかあまり興味を持ったこともありませんでした。けれども、オペや外来を見学したり、カンファレンスで先生方が懇切丁寧に病態やオペの内容を説明してくださったおかげで面白さを感じるようになり、今では自分の将来進みたい科の候補の一つとなっています。特に印象的だったのは人工膝関節や人工股関節の手術で、クリーンルーム（無菌手術室）で宇宙服のようなガウンを着て行われる、骨切り鋸やハンマーを用いた手術を初めて見た時は、その大胆さに驚きました。しかも、手術を間近で見学させていただいたことが大変嬉しく、貴重な体験となりました。他にも関節鏡や脊椎外科のオペなど、今まで本で勉強していただけの名前を、実際目で見ると手術内容と結びつけられたことで頭にイメージを残せ、とても勉強になりました。

学生のためにここまで様々なことを教え、体験させて下さる病院はあまりないと思うので、自分はここで実習できて幸運でした。今後も医学の勉強に励んでいきたいです。お世話になった先生方や看護師の方々をはじめ、全ての病院スタッフの方々に感謝しています。ありがとうございました。

平成22年から年にひとりの割合で、遠路はるばる京都大学から学生が臨床実習で来られています。実習生はいつもひとりだけなので、濃密な実習ができ、学生さんにとってはかなり充実した3週間となります。当院の医師の年代層はかなり高齢化してきていますので、将来未知数の若き医学生が時々医局内に混入することで、皆の気持ちがりフレッシュするのではないかと期待しています。



池田登整形外科部長(京都大学臨床教授)と並川さん：整形外科外来にて

関節と骨の健康フェスタ

開催しました



「関節と骨の健康フェスタ」を開催しました。昨年度から『元気に歩けるしあわせ教室』として講演会等を開催してきましたが、本年度は第1回目として「関節と骨の健康フェスタ」を5月27日（日曜日）に当院玄関ホールで開催しました。当日は、たくさんの方々に参加して頂き、ありがとうございました。

玄関ホールでは人工関節の展示、各種検査コーナー、診療等相談コーナーを設け、院内会議室では講演会を行いました。

各種検査コーナーにおいては、血管年齢検査、骨密度測定、三次元足圧測定、BMI測定を行いました。

日頃測定する機会の少ない、血管年齢測定や、三次元足圧測定は「血管年齢が若くて安心した」「自分の歩く癖がわかった、今後は注意したい」等の感想がありました。

また、最近特に関心が高い骨密度測定にもたくさんの方にお出で頂き大変喜んでいただきました。



三次元足圧測定



講演会風景



医師による相談コーナー



講演会場では、「人工関節とは～膝関節と股関節～」、「メタボリックシンドロームについて」の2題の講演があり、「とても分かりやすい説明で良い勉強になりました」との感想を頂きました。

また、診療相談コーナーでは医師による健康相談、薬剤師による薬についてのご相談、栄養士による食事や栄養についてのご相談もお受けしました。「普段はなかなか聞けない薬の話もじっくり薬剤師さんに聞くことができ大変参考になりました」等々色々ご意見を頂きました。

会場廊下には当院の手術件数実績の展示、手術室の写真展も行いました。

今後も『元気に歩けるしあわせ教室』の一環として「フェスタ」を続けて行きたいと思っています。次回も是非お越し下さい。

(地域連携室 荒川真知子)



フランスでの研修会に出席して

整形外科部長 川合 準

2012年3月21日から3月27日に、海外の学会に参加してきました。病院からの海外出張で、毎年一人ずつ選ばれますが、今回は私に順番が回ってきました。場所はフランスのボルドーで、学会名はEuropean Congress on Osteoporosis and Osteoarthritis (IOF-ECCEO12)で、日本語に訳すと欧州骨粗鬆症・変形性関節症学会となります。この学会はIOF (International Osteoporosis Foundation) とESCEO (European Society for Clinical and Economic aspects of Osteoporosis and osteoarthritis) との共同で開催され、骨粗鬆症と変形性関節症に関するヨーロッパ最大の臨床的

学会です。主に骨粗鬆症の治療に関する疫学的研究が多く発表されており、その他大腿骨頭壊死に関する発表等もあり、今後の診療に役立つ有益な情報が得られました。

ボルドーはパリからTGV (フランスの新幹線) で約3時間半の大西洋岸にあり、ブルゴーニュと並んでフランスワインで世界的に有名なところ。街も非常にきれいで都会のぎすぎすした感じはなく、是非観光でもう一度訪れてみたいと思いました。一人でいったため、フランス語等で苦労もありましたが、非常に貴重な体験をさせていただきました。有り難うございました。



脊椎外科センター病棟紹介



西4病棟主任 南 喜代美

こんにちは。

脊椎外科センター病棟は、4階の西側にあり穴道湖の美しい景色を眺めることのできる病棟で、入院病床は52床です（ベッドの内訳は個室4床、6人室48床）。脊椎手術を受ける患者様に対して入院から手術、手術後約2週間の急性期の看護を担当しています。スタッフは石部センター長を中心に医師、看護師17名、看護補助者5名、リハビリ担当者、在宅復帰支援者です。

平成23年度の脊椎手術症例は312例で、内訳は胸腰椎257例、頸椎55例でした。新たに脊椎チームに神庭先生を迎えたことで手術件数も随分増えました。県内の整形外科看護技術を先導する病院として、患者さまのニーズに応え安全で安心できる環境を提供できるように、センター病棟の看護師が入院前の外来の時点から関わりをもち、患者様の身体的評価を含め入院後の生活がイメージでき少しでも不安の緩和につながるよう努めています。また、手術後

は疾病の回復と共に自立支援に向け、リハビリや相談員などと連携を図り看護介入をさせて頂いています。

最近では、骨粗しょう症が原因で生じた圧迫骨折に対し保存的治療でも回復が難しかった症例に対し、いち早く**バルンカイホプラスティ（経皮的後弯矯正術）**（詳細は次号に）を取り入れています。この手術によって速やかに痛みが軽減され歩行出来るようになる患者さまを見ていると、医師の行う治療技術の素晴らしさを実感します。その中で脊椎チームの一員として患者様の最も身近な存在である看護師一人一人が役割を認識し、自己の持てる力を最大限発揮した看護の提供を目指していきたいと頑張っています。



ぜひ私達と一緒に働きませんか

ちょっぴり忙しいけどやりがいがありますよ。



脊椎以外にも骨折・外傷・肩関節疾患等の患者さまの看護も行なっています。

地域連携室 について

地域連携室では

専門病院として地域の方々のニーズにあった医療を提供するために医療機関とのパイプ役としての役割を推進すると共に、患者様・ご家族の相談窓口としての役割を果たすために平成16年4月から地域連携室が開設されました。

《業務内容》

- 地域医療機関からの紹介・検査（MRI／CT）依頼の受付・調整
- 他の医療機関へのご紹介
- 紹介元の医療機関へ報告
- 地域医療機関からの転院紹介の窓口
- 患者様からの健康・受診に関すること、制度（医療・福祉・介護）に関することなどの相談・ご案内窓口
- 人工関節友の会入会窓口
- 訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションの問合せ、申込窓口
- 地域医療機関との症例検討会開催窓口
- 広報の窓口、広報誌作成、出張講演受付

どうぞお気軽にお声をかけて下さい。また、ご意見、ご要望等ありましたらお知らせください、お待ちしております。

《お願い》

紹介状をもらわれて予約をまだ取っていない場合は連携室にお電話いただき予約をなさってください。たとえ、紹介状があっても予約がいっぱいの場合には待ち時間が長くなったり、後日の予約をお願いしなければいけない場合があります。

《お問い合わせ窓口》

TEL：0852-62-1591 FAX：0852-62-1579

《時間》

平日 8:30~17:15

地域連携室 荒川真知子



医療福祉相談室 について

医療福祉相談室

当院では、専任のMSW（医療ソーシャルワーカー：社会福祉士、精神保健福祉士などの有資格者）が相談援助業務を行っています。

ご相談の範囲は、以下のようになります。

1. 受診・受療についてのご相談
2. 退院・社会復帰についてのご相談
3. 療養中の心理・社会的なご相談
4. 療養費・生活費についてのご相談
5. 地域的支援についてのご相談

ご相談は予約制で、土日祝祭日を除く8時半~17時です。

ご相談は、利用される方々のプライバシーを厳守し、その主体性を尊重します。

医療相談室 竹下 博雅



夏バテ防止料理!!

ゴーヤ茶

夏になると、ゴーヤでエコなカーテンを作られるお家も多いのではないのでしょうか？真夏の電気が節約でき、省エネを通して地球温暖化抑制に貢献できる。さらに、自宅でゴーヤが収穫できるなんて、一石三鳥「ゴーヤグリーンカーテン」すご過ぎる!!でもゴーヤが採れ過ぎちゃって…。捨てるのはもったいないし、そうは言っても毎日食べられないし…。そんな時、今回紹介する「ゴーヤ茶」を作ってみてはどうでしょう!?

大きめのゴーヤ2本(約500g)で、30g程度のお茶を作ることができます。ゴーヤ茶は、**疲労回復・肥満予防・むくみの解消・コレステロールの低下・がん予防・高血圧・糖尿病予防・便秘予防・胃腸の動きを活発にする等の効果**が期待できると言われています。

【ゴーヤ茶の作り方】

1. ゴーヤを縦半分にする。
2. スプーンで種とワタの部分をかき出す。
3. 1mm幅の薄切りにする。
4. 種をワタから取り出す。
5. 干物を作る時に使う「干し網」に、ゴーヤと種を重ねないように広げる。
6. 1~2日、日当たり、風通しのよいところでカラカラになるまで天日干しする。
(干すことが難しいようなら電子レンジで加熱する。ゴーヤをオープンシートに並べ、3~4分加熱して裏返し、さらに3~4分加熱する。)
7. ゴーヤと種をフライパンで薄茶色になるまで乾煎りする。
青臭さもとれ香ばしくなり、ほうじ茶と麦茶をミックスしたような味がします。
8. 冷めたら湿気を吸わないように密封できる容器に入れて保存。



5・6 ゴーヤと種を干す



【お茶の入れ方】

適量を急須に入れて熱湯を注いで5分置き、成分をしっかり抽出してから飲んで下さい。煮出すなら、2~3分位で良いと思います。

【注意点】


カリウムの摂取量を制限されている方はお控え下さい。

管理栄養士 周藤あゆみ




こんにちは 新人紹介 はじめまして

三原 一志
(整形外科医長)




兵庫県より転動してきました。島根県出身です。よろしくお願ひします。

川上 泰広
(整形外科医師)




はじめまして。平成24年4月より山口県より転動してきました。生まれは米子市岡成で3歳までいました。その後は山口県長門市で育っており山陰生まれで山陰育ちです。玉造にきてまだ4ヶ月ですが、穴道湖や松江城などが近くにあり雰囲気の良い町で気に入っています。まだ、医師になって5年目で経験が浅く、専門分野ありませんがよろしくご指導ください。

園山 敏正
(理学療法士)




こんにちは、理学療法士の園山敏正です。趣味はバスケットボールと読書、映画鑑賞です。今年4月入社の新人ではありますが、いつも笑顔で楽しく頑張りたいと思いますので、これからよろしくお願ひします。

三上 真依
(理学療法士)




4月よりお世話になっております。一日でも早く仕事に慣れ、一人でも多くの患者様に笑顔になって頂けるよう一生懸命頑張ります。今後ともご指導よろしくお願ひします。

杉谷 一樹
(理学療法士)



4月から理学療法士として働かせていただいています。未熟な面も多々あると思いますが、1日でも早く力をつけるよう日々精進していきます。今後ともよろしくお願ひします。

妹尾 麻未
(作業療法士)



4月から玉造厚生年金病院に入社しました、作業療法士の妹尾麻未です。日々成長出来るように目標を持ちつつ、笑顔を忘れずに頑張ります。これからよろしくお願ひします。

お知らせコーナー

メディカルクラーク(医師事務作業補助者)の配置について

メディカルクラークは、増え続ける医師の事務作業を軽減させることにより、患者様へのサービスの向上を図る目的で厚生労働省より配置推進の方針が出されております。当院でもこの制度を導入することとなり、現在3名のメディカルクラークを採用し、医師が本来の治療に専念できるよう診療事務補助や各種書類作成、研究のための資料作成などにあたっています。

メディカルクラークには、採用時に、患者様の個人情報保護や各診療科の概要や提供する医療に関する教育を実施し、現場に配置しています。

外来診療時には、メディカルクラークが同席する場合がありますので、患者様にはご理解の上、診療を受けていただきますようお願いいたします。



耐震補強等工事の実施について



当院は昭和20年11月に玉湯町玉造に開設され、昭和56年に現在地に移転して以来、整形外科とリハビリテーションの基幹病院として長く地域に親しまれてきました。

しかしながら、当院の建物は築後30年が経過し、老朽化が進み、加えて耐震補強の必要もあります。

これからも良質な医療環境の確保と、併せて、地震等の大規模災害時に重要な役割を担う医療機関とし

て、災害発生時における適切な医療提供が行える体制の維持も図らなければなりません。

この様なことから耐震補強工事を始め、経年劣化箇所の補修、設備等の更新工事を実施します。

工事の実施にあたり、入院患者様始め、来院される皆様に大変ご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、工事期間中も今までどおり診療は継続して行います。

工事期間 平成24年6月～平成25年2月(予定)

市民公開講座 第5回元気に歩ける幸せ教室・第6回人工関節友の会の集い

膝と股関節痛でお悩みの方へ

～骨粗鬆症・メタボ、あなたは大丈夫～

- 平成24年9月30日(日)
- 開場12:30 開演13:00～15:00
- 松江テルサ・1階テルサホール
- 要予約 ☎0852-62-1591 地域連携室

入場無料

ご興味ある方は
おいで下さい

講演Ⅰ
骨粗鬆症について

院長 三河 義弘

講演Ⅱ
メタボリックシンドローム

循環器科部長 落合 康一

座談会
手術を受けられた方を囲んで

座長・整形外科部長 池田 登

あ と が き

今年も夏恒例の高校野球が開幕します。負けたら終わりのトーナメント戦ということもあり、一挙手一投足に選手たちの一生懸命さとひたむきさが感じられ、応援にも熱が入るものです。

先に行われたオリンピック選手たちの世界最高水準の競技もさることながら、高校球児たちの荒削りで大胆なプレーにも声援を送りましょう。

ホームページから たまづくりNOW がダウンロードできます。 <http://tamahosp.jp>

患者さまの権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。

あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。

あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。

あなたのプライバシーと個人情報は完全に保護いたします。

玉造厚生年金病院

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852(62)1560